国鉄闘争と 労働運動の復権

国鉄闘争全国運動の本格的発展を! 動労総連合を全国につくろう!

[発行] 国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動

働運動復権の展望について、動労千葉の田中康宏委員長へのイン この小冊子は、3年を超えて闘われてきた国鉄闘争の意義と労

タビューをまとめたものです。 〈目次〉

第2章 11 1

第 4 章 第3章 章 これからの労働運動が問われていること…………… 国鉄闘争が時代の先頭に立つときがきた…………… JRの職場から労働運動の復権を………………… 28 24 19

終

第1章 いまこそ国鉄闘争の本格的発展を

労千葉・動労総連合の闘いというだけでなく、 私たちは、 1985年の国鉄分割・民営化反対の第1波ストライキから30年が経ちました。 国鉄分割・民営化攻撃と3年を超えて闘ってきました。それは単に動 闘いを支えて下さった全国の無数

の仲間たちの力がつくりあげたものです。

問われていることは何か。 来を左右する重要な意味を持つ闘いです。原点に立ち戻ってあらためて訴えたい。 非妥協的に闘争を貫いた例はありません。国鉄闘争は労働者の現在を規定し、 国鉄分割・民営化とはなんだったのか。なぜ30年を超える闘いが続いているのか。 日本の労働運動の歴史には、国家をあげた攻撃に対しこれほど長期にわたって

に組織したいと考えています。 今こそ国鉄闘争全国運動を本格的に発展させたい。そして、動労総連合を全国

国鉄分割・民営化とはなんだったのか

昨年末、 その後の歴史をみれば明らかです。 国鉄分割・民営化は、戦後最大の労働運動解体攻撃でした。 非正規労働者がついに2千万人を超えましたが、その一言では表現でき 労働者の権利がどれほど破壊されたのか。

> 【国鉄分割・民営化】中曽根 化した。同時期に電電公社 化した。同時期に電電公社 と日本専売公社も民営化さ と日本専売公社も民営化さ



日 津田沼電車区) ライキ(1985年11月29 を武線発進せず! 国鉄分

ないほど労働運動が力を失い労働者の権利が破壊されました。

権の行使容認の閣議決定に至る改憲と戦争への動きもここから始まった。 それだけではありません。当時、 いにして立派な憲法を安置する」と言いました。安倍政権による集団的 中曽根首相は「国鉄分割・民営化でお座敷を

と言われる戦後はじめてのマイナス成長の中で闘われた1974年の春闘は33% た日経連は「大幅賃上げの行方研究委員会」をつくって総評解体攻撃に動きだ の大幅賃上げを実現しました。このままでは日本は破滅するという危機感を持っ 大変な危機感を持っていました。石油ショックや激しいインフレ、74~75年恐慌 中曽根首相は 「戦後政治の総決算」を掲げて登場しました。支配階級は当時、

たのが中曽根政権です。今の安倍政権と同じような性格を持っていました。 そうした危機感を背景として、「乱暴な改革」を断行する使命を帯びて登場し

動を牽引する中心部隊だったのです。 して国鉄民営化をやった」と中曽根自身が後に語っています。 解体だったのです。「国労をつぶせば総評、 配構造を解体することにありました。その焦点に据えられたのが国鉄労働運 戦後政治の総決算」攻撃の核心は、総評・社会党をつぶして55年体制的な支 社会党がつぶれることを明確 国労は総評労働運 に意識 動の

わずか6年で国労組合員が6分の1に

てを競争原理に叩き込み、雇用や社会保障制度を破壊する攻撃です。国鉄分割・ 義 危機は新自由主義を生み出. しました。 社会的連帯を断ち切ってすべ

中曽根康弘

Qのてこ入れで結成された。 Qのてこ入れで結成された 外働組合のナショナルセン ター(全国中央組織)。当 ター(全国中央組織)。当 軍を支持したが、翌51年に 軍を支持したが、翌51年に 軍を対解戦争における国連 軍を対解戦争における国連 軍を対解し、大半 の全織同盟(現在のUAゼ ンセン)などが脱退した。 ンセン)などが脱退した。

がもっとも典型的・暴力的に貫徹された攻撃でした。 民営化こそ日本における新自由主義政策への転換の突破口として仕組まれ、

たのが87年です。このわずか6年のあいだに20万人の国鉄労働者が職場を去りま した。まさに戦後最大の首切り攻撃だった。 実際に何が起きたのか。 。民営化への動きは1981年にはじまりJRが発足し

まれました。職場では前代未聞の激しい組合破壊攻撃が吹き荒れました。 国労が4万人にまで切り崩されたのです。20万もの組合員が脱退や退職に追い込 もっと重大なことが起きました。同じく81年には24万の組合員を組織していた

組合の役員や活動家は基本的に全員配転され隔離されました。こうした現実の中 総評脱退までやってのけた。それは「国労や動労千葉を脱退しなければJRには 採用されない」という攻撃にさらに拍車をかけるものでした。民営化に反対する と首切りの手先となって生き残る道を選択しました。 "転向゛を証明するために 、鬼の動労〉と評された動力車労働組合は「冬の時代がきた」と言って民営化 体の組合脱退攻撃が繰り返され、200人の労働者が自殺しました。

も有効な闘いを組織することなくズルズルと後退していった。強力な力を誇って 1989年に解散して連合が生まれ、 壊が起きました。 いた国鉄労働運動がわずか1~2年の間に為す術なく崩れてしまったの の方針を待っていました。しかし、動労本部は民営化の先兵に転落し、 こうしてそれまで誰も想像つかなかったような労働運動全体の深刻な自己崩 中曽根が言ったとおり、総評は国労という中心を失った結果、 1996年には、総評という実体を失って です。

職場は怒りに満ちあふれ、さまざまな抵抗闘争を続けながら首を長くして闘

利が好き勝手に踏みにじられる前提ができたのです。 社会党も消滅しました。こうして社会的な力関係がひっくり返った。 労働 者 この権

労働者の権利を根本から覆した国鉄改革法

かは 切断したうえで、 職員は承継しないと決めたのです。国鉄職員はいったん全員解雇して雇用 鉄とJRは実質的には何も変わらない。 には及ばない仕組みが作られたのです。 用候補者名簿は国鉄が作成してJR設立委員会に提出すると定め、 車が走っている。 (採用の自由) 完実を可定 JR社員は応募した者の中から〈新規採用〉 ところが改革法は だと言うだけでなく、 能 に したのが国鉄改革法でした。 「両者はまったく別の法人格」と位置づけ、 同じ駅があり、 二重三重に不当労働行為の責任がJR 民営化されたと言っても国 同じレールの上を同じ電 する。 誰を採用する しかも、 関係を

らゆる勢力の屈服だった。 なら絶対に許してはならない問題でした。 これは、 それまでの労働者の権利関係の常識を根本から覆すものでした。 しかし現実に起きたのは改革法へのあ

化や外注化を進める攻撃となって猛威をふるいました。 ていました。 それはまさしく今日の「解雇自由」「不当労働行為自由」 それは「国鉄方式」と称し、 労働者の 0) 団結を破壊して、 扉 を 開く意味を持

準法 玉 鉄改革法と労働者派遣法の制定が、その後の労働規制緩和、 玉 |鉄改革法制定と同じ年に労働者派遣法が施行されています。派遣法は労働基 の根幹を打ち砕く決定的な意味を果たしました。 つまり国鉄分割 労働者の団結破壊 民営化、

【国鉄改革法】国鉄解体関連とそれに伴う資産・債務のとそれに伴う資産・債務のとを表して、2条は、どの基本を定める。23条は、どの基本を定める。23条は、との基本を定める。25条は、との基本を定める。25条は、10条の採用の手

続きを定めている 続きを定めている

の出発点になったのです。

続けている。新たな支配構造を確立することができない。これは資本主義体制の ない現実を生み出そうが、 思います。支配階級の側も、社会が壊れようが、人が人として生きることができ 心を寄せてくれているのは、 とうとしています。 末期症状です。30年間守りぬいてきた闘いは新たな情勢の中で決定的な意味を持 今も国鉄分割・民営化が過去の問題にならず、その後に生まれた若い世代も関 国鉄分割・民営化型の攻撃を社会全体に対して延々と 今の労働者の現実を直接的に規定しているからだと

国鉄分割・民営化反対のストライキ

になる。しかも、こういうときに闘えなかったら労働組合の存在価値そのものが 退しても3人に1人はクビ。明確な方針を出さなかったら職場の団結はバラバラ 残るも地獄〉、それが民営化攻撃でした。この状況の中で団結を守る手段は、ど 時点で、民営化にあたって3人に1人の首を切ると言われていた。〈去るも地獄〉 んなに困難でも闘う以外に道はない。動労千葉はそう判断しました。どこまで後 話は戻りますが、1985年になると攻撃はさらに激しさを増しました。その

あり 闘争やジェット燃料貨車輸送阻止闘争、 した。自ら闘いに立ち上がることを通して職場全体に火をつける。そうすれば必 動労千葉はそれまでに、 「団結さえ崩さなければ展望は必ず生まれる」が組合員の確信になっていま 事故を起こした運転士を守りぬく反合理化・運転 動労本部からの分離・独立闘争の経験が

津田沼電車区) 津田沼電車区)



ず展望は生まれる。組合員や家族にそう訴えて、 2波のストライキを決行した。 1985年11 月、 1 9 8 6

けて闘った。直ちに大反動が襲いかかります。たった1日のストライキなのに28 対する唯一の真正面からの反撃でした。全組合員が一糸も乱れることなく首をか が不当解雇されました。 人の組合員が解雇され、損害賠償請求訴訟も起こされた。業務移管で仕事を奪い 「過員」を理由に組合員が駅や売店に配転されました。 「採用差別」でさらに12: それは、今から考えても歴史的な闘いだったと思います。 国鉄分割・民営化に

が爆発してそれをひっくり返し、執行部は総辞職した。それが86年の修善寺臨時 使共同宣言を締結して組織を維持しよう〉という方針です。しかし、 当時、国労は「大胆な妥協」路線で動いていました。〈もう抵抗はできない。労 大会です。 しかしその闘いは、間違いなく全国の国鉄労働者の気持ちを激しく揺さぶった。 現場の怒り

> 【国鉄清算事業団】国鉄分割・との大き継がれなかった国鉄の長営化の際、JR各社に引 時債務の返済や余剰人員と された特殊法人。1990 された特殊法人。1990 された特殊法人。1990 された特殊法人。1990 でイラために設立 でイラに再雇用対策は終了 に、1947名が解雇された。1998年に解散し、

国鉄1047名解雇撤回闘争のはじまり

合員たちも闘いの意志を打ち砕かれることはなかった。 こうして動労千葉は団結を守りぬいてJRに乗り込みました。 国労の 現場 \tilde{O}

働委員会などでJR採用を求めて闘いを開始した。 んどが国労の組合員でした。3年間の雇用対策期限で清算事業団に雇用され、労 JRに採用されずに国鉄清算事業団に送られた労働者が7千数百人。 二度目の解雇をめぐり国鉄労働運動はもう一度問われました。 そして3年が過ぎた1990 その ほと

社会党の仲介で名誉だけ回復して闘争を終わらせる政治決着です。 かし、そのときも闘いを支配していたの は国鉄改革法に対する敗北

トライキに突入した。こうして「和解」策動もご破算になった。 日から支部の組合事務所が次々封鎖される状況の中、 えました。全体が闘争終結で動く中ですから大変な反動が襲いかかった。スト前 私たちは、 この問題をそんなかたちで終わらせてはいけないとストライキ 半日繰り上 げて前倒し でス -を構

闘争」です。 理解雇され、闘う道を選んだのです。これがいわゆる そして、清算事業団に送られた1千人を超える労働者が自主退職を拒否 戦後最大の労働争議が生み出されたわけです。 国鉄分割・民営化に対し1千人を超す労働者が闘い続けることを表 国鉄 1047名解 雇 て整 撤 П

分割・民営化を認めない1047名の闘 さらに、 労働運動の現状に危機感をもった全国の労働者が百万人規模で、 いの旗のもとに集まった。 国鉄

戦後の で戦争に賛成するナショナルセンターとして総評がつくられた。 働組合はすべて解散し ターが解散に追い込まれた例が2回あります。一つは戦前です。 その前年1989年が連合の結成です。 1 9 5 0 年朝鮮戦争の直前に て産業報国会となって大政翼賛会の監督下に入った。 「産別会議」が解体されて、 それ以前に労働組合のナショナルセン G 1 H Q 94 0年、 いり

許さない現場 問 **「題です。それが国鉄分割** つまりナショナルセンターの再編 動労千葉の小さなストライキがそれを生み出した。 の労働 署の闘 いがこうした形で始まったのはまさに決定的なことで ・民営化の過程で起きた。それに立ち向かって決着を 解体は、 戦時にしか起きないくら その闘いは、 いい重 日本の労



年12月) 文部の組合事務所(1989 フェンスで囲まれた津田沼 ストライキ予定日の前日に

【産業報国会】日本の戦時体制下における戦争協力のための労働団体組織。1938年に発足した産業和国連盟のもとで各工場・事務所に労資一体が置かれた。1940年に発足した産業報国連盟のもとなり、戦時体制のための労働団体が統合され大日本産業程会となり、戦時体制の様となった。敗戦に伴い解せとなった。敗戦に伴い解せとなった。

働者全体の権利を守る位置を持ったと考えています。

政治決着路線との闘い

存在は、 鉄改革法の承認〉 労本部は、解雇者の腹の底からの怒りの声とエネルギーを常に無視し、国鉄分割・ いました。 民営化攻撃に屈したのと同じ構図の中で対応を続けました。政治決着路線です。 一方、 国家権力の側はこの過程で、国労に対して政治解決の条件として、「〈国 葉の中野洋前委員長がいつも言っていましたが、 戦後日本の労働運動が生み出した精華というべき存在でした。 〈JRに法的責任なし〉を大会機関で決定しろ」と迫り続けて 1047名の労働者の しかし国

ことです。万が一にも違法となれば労働運動解体の意図が根本から崩壊する。だ 自身が国鉄改革法の枠組みが本当に通用するのか自信をもっていなかったという おかしなことです。そんなことは大会で決めるようなことじゃない。 支配階級

から国労にそれを飲ませることで合法化しようとしていたのです。

合法化」でしかなかった を出しましたが、それは、 裁判所は、 1998年の一審判決で「JRに法的責任なし」という判決 (2003年)。 後に最高裁ですら意見が3対2に割れる「ギリギリの

いま現在の課題です。 て打ち破ることはできない攻撃ではなかったのです。それは過去の問題ではなく つまり、本当に真正面から闘いぬくことができていれば、 われわれは、 まさにその闘いを継続しているのです。 国鉄改革法はけ うし

0) 1998年5月2日、 入れを拒否。 かしJRは救済命令の 労働行為であることを認定 働委員会は、 【1998年5・28判決】 責任は及ばないというの Rは別会社であり、 あったとしても、 主張を認め、 り消した。不当労働 救済命令を出した。 月28日、JR東京地裁は 救済命令を J R 行為

4・9政治和解と国鉄闘争の新たな全国運動

戦でしたが、それから5年、全国の無数の仲間たちの力がこの旗のもとに結集し、 争の新しい全国運動が始まりました(国鉄分割・民営化に反対し、1047名解 1047名闘争を引き継いで階級的労働運動の陣地を守る画期的な運動体になっ 雇撤回闘争を支援する全国運動、 わけです。こうして「国鉄闘争の火を消すな!」という呼びかけのもとに国鉄闘 とを考えた時、絶対にこんなかたちで国鉄闘争を終わらせてはならないと思った には「これでは納得できない」という意見も多くありましたが無視されました。 1047名闘争が金銭和解をもって闘いの旗を下ろしたのです。 面 しました。 私たちは、この政治決着に強い危機感を持ちました。これからの労働運動 こうした攻防が20年以上続くなか、 国労本部をはじめとする4者4団体による4・9政治決着です。 略称・国鉄闘争全国運動)。前途の見えない挑 闘いは2010年、 再び重大な岐路 被解雇者のなか のこ

【4・9政治和解】2010年4月9日、すべての訴訟年4月9日、すべての訴訟を取り下げ、二度と不当労をいことを約束し、政府にないことを約束し、政府になる雇用は保障できないことを受け入れる代わりに金とを受け入れる目がのできないこのが、1000円のでは、10000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、1000円のでは、100

者4団体が表明した。

非正規雇用化の核心は外注化だ

撃です。 ました。 したのです。 国鉄分割・民営化は、 民営化が労働者の権利と団結をなぎ倒して外注化や非正規化として進行 これで膨大な労働者が非正規化された。 1990年代後半にJRだけでなくあらゆる企業で顕著になった攻 JRの職場では 〈鉄道業務の外注化〉となって継続され

JR東日本の外注化攻撃は1999年から始まりました。 設備業務 (保線・電

バラに外注化していく攻撃です。こんなことをすれば鉄道の安全は崩壊し、 力・信通・建築・土木)から車両検修まで、 もメチャクチャになる。絶対に許してはならないと考えました。 あらゆる業務を何百もの会社にバラ 雇用

も2業務に限定されていたのが適用を拡大され、ついには製造業にも解禁された。 感しました。 外注化が労働者にとってどれほど核心的な攻撃だったのかは闘ってはじめて実 その過程でも労働規制の緩和や解体が進行しました。 労働者派遣法

次々と改悪され、会社分割や連結決算などが好き勝手にできるようになった。 労働基準法も労働契約の部分は労働契約法にして罰則なしになった。企業法制も 百万人の労働者が非正規雇用に突き落とされたのです。その核心が業務の外注化、 はありません。現場の攻防で労働組合が抵抗できずに容認した過程を通して千数 でも法律が変わったからといって自動的に非正規雇用に突き落とされたわけで

執拗に闘って押しとどめてきた。 これを1047名解雇撤回闘争と一体で闘って JRの車両検査・修繕部門の外注化を阻む闘いは現在まで15年間続いています。 アウトソーシングだった。

きました。

社会保障制度、教育、医療を攻撃し、社会を徹底的に破壊して暴れる力を生み出 えるような性格をもっています。 しました。安倍政権は、出口のない危機の中で、そうした現実に最後の一撃を与 国鉄分割・民営化から始まった新自由主義攻撃は、労働組合を破壊し、雇用や

る。そんなことはどう考えても通用しないことです。だけど安倍はそういう連中 破滅して敗戦を迎えた。それを賛美することだけが支配の手段になろうとしてい 観からの脱却」です。かつて日本帝国主義はアジア侵略戦争にのめり込み最後は 民営化以来30年間守りぬいてきた闘いが、新しい情勢の中で大きな意味を持とう を支配の中枢に据えて突き進んでいる。これは支配の危機を示すものです。 この情勢を労働運動が力をとり戻すチャンスにしなければならない。国鉄分割・ 安倍首相は「戦後レジームからの脱却」を唱えて登場しました。「東京裁判史

安倍政権の破滅的政策

としています。

全力でアクセルを踏むような破滅的政策です。 「異次元緩和」「成長戦略」などと称して進められていることは、 崖に向かって

者が生きていけない状況が生み出されている。 労働力の再生産は、 半分を超えている。 えました。非正規雇用の労働者が全体の3%。 しんでいる。竹中平蔵はそれでも飽き足らず「正社員をなくす」と言い放った。 現実には何が起きているのか。 独身女性の3人に1人、子どもの6人に1人が貧困以下で苦 資本主義が成立する最低限の条件です。にもかかわらず労働 昨年 1 月 非正規労働者がついに2千万人を超 女性では実に5%です。青年層も

さらに安倍政権は、小中学校の設置基準を59年ぶりに見直して全国3万の小中学 移管の次は間違いなく「民間活力の導入」になる。国民皆保険制度の瓦解です。 管するという法案が出されようとしています。 校を半分に統廃合するという。もはや日本が一つの社会、国家として成立しない る」という衝撃的な報告を出しました。国民健康保険を市町村から都道府 日本創成会議は「2040年までに896自治体が消滅する可能 国保が崩壊しようとしている。 が あ

置けば全国の工場で解雇規制などが適用されない。 では保険診療と自由診療を組み合わせる混合診療などの規制緩和を画策してい と民営化攻撃そのものが社会の崩壊に拍車をかける。雇用特区では特区に本社を 進んでいることです。しかも、岩盤規制を打ち砕くと称して進められる社会丸ご 瀬戸際まで現実が迫っています。 これが「成長戦略」「企業が世界で一番活動しやすい環境をつくる」の背後で もはや憲法番外地です。医療

げた株価は間違いなく崩壊します。そうすれば年金資金が吹き飛ぶ。もはや事態 そしてついには公的年金資金を株式に投入してしまった。 異次元緩和でつり上

はここまで来ている。

闘争が今日まで継続してきた意味があると思っています。 ります。労働組合が闘ってその力を取り戻した時に事態は動き出す。 だけど、こうした矛盾の中にこそ社会のあり方を根本的に変革する可能性があ

戦争の論理で動き始めた

みにじって戦争への道を突き進みはじめました。 安倍政権は、 昨年7月、 集団的自衛権行使容認の閣議決定を強行し、 憲法を踏

は、 党は自主憲法制定を唱え、安保条約の締結などを進めた。だから改憲・戦争反対 労働運動は「二度と戦争はくり返さない」を原点として出発点しました。だけど 要な課題だと認識されてきた。 朝鮮戦争がはじまった1950年には警察予備隊が発足し再軍備が始まる。 かつて労働運動が産業報国会となって戦争に協力したことに対し、 徐々に形骸化されていったとはいえ、 つねに労働運動の根底にあって最も重 戦後の日本

後に破壊しています。すべてを労働運動の問題として考えなければいけない。 それが根本的に覆されたのも国鉄分割・民営化、 閣議決定で超えることができなかった「防衛費1%枠」も分割・民営化の 総評解体からでした。 中曽根

会の現実は、「戦争」が目の前の問題として迫っていることを多くの労働者に突 きつけました。 イスラム国「人質事件」でも「テロには屈しない」と叫びたてる安倍首相や国

安倍首相は、

46社の企業幹部を連れてイスラエルに行き、イスラム国対策とし

防衛協力や兵器の共同開発などの共同宣言も出しています。 権益を求め、有志連合に参戦することを意味するものです。 て2億ールを出し、「イスラム国と戦う」と演説しました。 閣議決定と期を一にして何もかもが戦争の論理で動きはじめている。 それは明らかに中東に イスラエルとは昨年、 集団的自衛権行使の

戦争に対する労働組合の態度

るいは政府の弾圧に屈し、その多くが「祖国防衛」の名の下に戦争協力に転落し 社会主義者は、 勃発の防止に全力をつくすこと」「それでもなお戦争が勃発したばあいには自国 ていった。これは誰もが語ってきた歴史的経験です。 の政府と闘う」ことを固く約束しました。しかし、現実に戦争が始まると各国の 第一次世界大戦の前、世界中の社会主義者がスイスのバーゼルに集まり「戦争 こうした情勢のなかで、 戦争が生み出す排外主義や国家主義、 労働運動が考えなければいけない課題 愛国主義にのみ込まれ、 は 何

民の生命を殺すのが戦争です。資本主義体制の危機こそが戦争を生み出す根源な ンです。 のです。 でも同じことが起きている。安倍政権の閣議決定では 資本の利益、 国民の生命を守るのが政府の責務〉となっています。 国家の存立を守るために、 自国 1•他国 〈国家の存立を全うする の 無数 でもそれはペテ の労働者や農

2働運動の再編が始まった

労働運 動が問われています。 結局、安倍政権が行き着いたのも「戦争をする国

化 が据えられた。それを象徴的に示したのが、 合を分裂させよ」という主張です。これは一評論家の主張ではない。 をつくるために **!しなければ戦争などできない。そして安倍政権の政策の** いまの情勢からすれば連合の現状ですら中途半端です。 は、 あらためて労働運動 を解体するしかないということです。 櫻井よしこが産経新聞に書い 核心に労働運 労働運動を産業報 安倍政権 動 た 0 連 再編 国会

動をしている。もはやこんなことは許されない。〈UAゼンセンよ、三つの崇高 態度を曖昧にしている。特に自治労や日教組は地方にいけば護憲や基地反対の運 の理念にせよと主張します。連合本部は「憲法議論は時期尚早」と言ってい 櫻井は、UAゼンセンを讃えて〈愛国主義と憲法改正、 原発推 進 を労働 まだ 運動 意志を表明したものだと見る必要があります。

な理念のもとに連合を分裂させよ〉というのです。

ここ数年で日本最大の労働組合に成り上がったのですが、 格が違い 正規労働者であり、 は連合の中で特異な位置を占めている。化学や流通などの産別労組を呑み込んで UAゼンセンをもちあげているところに特別な意味があります。 、ます。 女性です。これまでの正社員中心の伝統的な右派組合とは性 組合員の半数以上が非 UAゼンセン

支配 労働運動は せないことを約束する。つまり、貧困や格差への怒りが渦巻く状況下での労働者 合員にするというやり方です。資本に対して絶対に非正規労働者の反乱を起こさ その組織化の方法は、 の手段、 資本の先兵の役割を果たすことで日本最大の労組になっていった。 労働者の反乱を徹底的に抑え込み、愛国主義と憲法改正、 会社とユニオンショップ協定を結んで従業員を丸ごと組 原発推進

> 品、流通ルギー、 どを組織する産業別労働組業、派遣業・業務請負業な 与 朝鮮による日本人拉致問題 系の組合を多く抱え、 本最大の労働組合。 2474組合を組織する日 サービス、福祉・医療 医薬・化粧品、化学・エネ 学食品流通サービス一般労 党系の議員を支持 流通、印刷、レジャー・ 組合員は約152万人、 外国人地方参政: 記に取 旧同盟

0)

を理念とせよ、これが安倍政権の意図です。まさに産業報国会です。

産経新聞労組がUAゼンセンに

働者支配の役割をUAゼンセンが担っている。 の小売業者でアジア13か国で事業展開している。アジアに進出した日本企業の労 しかも、UAゼンセンはグローバル協定運動を積極的に進めています。例えば 国際商業労連も入って、イオンと協定を調印しました。イオンは日本最大

組まれたものだと思います。 た労働運動再編攻撃と産経新聞労組のUAゼンセン加盟は、 マスコミに対する徹底した翼賛化攻撃を進めています。UAゼンセンをおしたて 入や、「国益を棄損した」という朝日新聞バッシング、特定秘密保護法制定など、 さらに産経新聞労組がUAゼンセンに入った。安倍政権は、NHK人事への介 総翼賛化に向けて仕

連合と政府・経団連が一体に

安倍自身がゴリゴリとアジっています。ちょっと異様です。 れで「官製春闘」に連合をとり込んだ。ここにもUAゼンセンの会長が参加して 合会長との会談を拒否し、政労使会議という連合を従わせる枠組みをつくり、そ います。政労使会議の議事録を見ると、形式的なあいさつというレベルではなく、 安倍首相が就任してから政労使会議を始めました。安倍首相は、恒例だった連

が参加しました。文字通り政労使の一体化が進められている。

さらに、連合の新年交歓会に、連合の結成以来はじめて経団連会長と日銀総裁

うに言う。これは、すべてが崩壊に向かって落ちていることを示しています。 れる前提などまったくないのに、 設備投資にも回っていない。ただ株価をつり上げているだけです。好循環が生ま 賃金を上げれば好循環が生まれるというが、実際は日銀が市場に出したカ 、何かアベノミクスの成否がかかっているかのよ パネは

ナショナルセンター再編が意味すること

ます。でもそんなことが安倍政権に貫徹できるとは思えない。 .のない危機が総評解散以来のナショナルセンター再編情勢を生み出してい

める社会丸ごと民営化攻撃や戦争政策が何をもたらすのか誰もが分かっている。 す余地もあった。だけど今はすべてが破綻したなれの果てです。安倍政権が進 えれば豊かな社会がやってくる」と幻想を煽ることもできたし、バブルを生み出 は突き落とされた。 「9%対1%」と言われているけど一握りの資本家だけが莫大な利益をあげて他 国鉄分割・民営化時とは現実の深刻さがまったく違う。当時はまだ「痛み

質に気付いていることも大きい。 ます非和解化する福島の現実の中から、 3・11の大震災と原発事故と、その後の政府の許しがたい対応、すべてがます 無数の人びとがこの国の政府、

主義を煽りたてても、社会を統合する論理がありません。アベノミクスの幻想が す。一方、社会の閉塞感に乗じて国家主義が煽られている。生きていけない現実 のなかで社会的衝突が始まる。安倍政権を見ていても、今の支配者たちには排外 日本の労働者は「戦争は二度としてはいけない」という強い思いを持っていま

崩壊したら何も残らない。そういう中で労働運動が力を取り戻す条件も生まれて

数の職場や地域で闘い続ける条件をつくってきた。その力が今こそ発揮されなけ 質に歯止めをかけてきた。多くの労働者が「このままではいけない」と全国の無 味は本当に大きい。国鉄闘争は、連合の完成を阻み、根底において労働組合の変 くる。そういう大きな転換点に来ています。 ればいけない。 そう考えると、国鉄分割・民営化以降30年にわたって陣地を守りぬいてきた意

第3章 国鉄闘争が切り開いてきた地平

まだ萌芽ではあっても、これまで労働運動が乗り越えることができなかった課題 に挑戦し、新しい地平を切り開くものでした。 国鉄闘争が切り開いてきた地平は決して小さなものではありません。それは 1

、闘えば分裂する〉の常識を打ち破った

という歴史は乗り越えられることを示しました。 第一に、日本の労働運動がトラウマのように繰り返してきた〈闘えば分裂する〉

されませんでした。 え上がっていながら、それに応えるだけの強力な団結を維持するための努力がな う認識のもとに構えていました。だから三池の労働者たちは激しい怒りの声で燃 あげて攻撃をしてきたときに分裂せず闘い抜ける労働組合など存在しない」とい 1960年の三池闘争のときも、総評指導部は始めから「資本や国家が総力を

も崩壊 識」を覆す闘いでした。むしろ国労は闘わないことで分裂し、動労本部・革マル となるのか、 国鉄分割・民営化以来の動労千葉・動労総連合の闘いは、こうした労働運動の「常 した。 労働運動の核心問題です。 分裂問題は、 労働者が階級的団結をいかにしてとり戻すことが可能 私たちの3年間の闘いは、どんな攻撃に

> 番争議の一つ。1959年 1278人の指名解雇し、 278人の指名解雇し、 278人の指名解雇し、 206年1月から全山ロック 206年1月から全山ロック 207年1月から全山ロック 207年1月から全山ロック 207年1月から全山ロック 207年1月から全山ロック 207年1月から全山ロック 207年1月から全山ロック 207年1月に中労 207年1日に中労 207年1日に中 207年1



も揺るがない団結、 労働者自身がもつ力、 労働組合の可能性を示しました。

合理化に対する積極的・攻勢的な闘い

がない。合理化のたびに妥協を重ね、 ないとすれば 識」です。それが一番顕著に示されてきたのが反合理化闘争においてでした。資 り返されてきたわけです。 本が日常不断にかけてくる合理化攻撃に対し、労働組合が受動的にしか対応でき 労働組合は資本との関係では常に受け身の存在でしかないという「常 「労働者は社会の主人公だ」という誇りや共同性を実感できるはず 労働者の団結が弱まる。そういう歴史が繰

理化 まで「事故は労働運動の課題にならない」が常識でした。 が人が出る重大事故でした。運転士はその場で逮捕され、 その現実を突破したのが、 ・運転保安闘争路線でした。 1972年の船橋事故闘争の中から確立された反合 船橋事故は列車追突によって一千人を超えるけ 起訴されました。それ

当局だ」と180度逆転させて実力闘争を貫いたのが船橋事故闘争でした。 題こそ資本のアキレス腱だ」「運転士に責任を転嫁するな。裁かれるべきは国鉄 くる闘いとなり、それまでの反合理化闘争のあり方をぬり変えたのです。 てそれは「明日はわが身」と切実に感じていた組合員の強力で持続的な団結をつ それを「事故や安全問題にこそ資本の矛盾が最も鋭く示されている」「事故問

労働組合はいかにあるべきか

個別の要求だけでなく、「時代認識と路線」「労働組合はいかにあるべ



団結できないという労働者を蔑視した思想があります。 たことです。よく「要求で団結」と言われます。 きか」をつねに労働者の団結形成の中心に据えて実践する運動 その裏には労働者は要求でしか のあり方を確立し

闘争、 べての闘争に貫かれてきました。 実践してきました。それは、動労本部からの分離・独立にはじまり、三里塚ジェッ 組合員と徹底的に議論し実践することこそが強い団結をつくりだすことを信じて ト燃料輸送阻 しかし、私たちは、その時その時の情勢の中で労働組合はいかにあるべきかを 動労水 一戸の仲間たちが先頭で闘いぬいている被曝労働拒否の闘いなど、 止闘争、 分割・民営化反対闘争への決起、 外注化・非正規 職化反対

非正規雇用の過程と非妥協で闘う

ける、 20人以上が動労千葉に結集し、 対してだけでなく、労働者が非正規化されていく過程に非妥協的に闘いを挑み続 0) 組織化に挑戦しています。 第四に、15年に及ぶ外注化阻止闘争の中で、非正規職に突き落とされた結果に 新自由主義攻撃下での新たな闘いのあり方を生み出しました。その いま闘いはJRだけでなく、 外注先企業の労働者 渦 中で

的 労働運動の再生に向けて努力していることへの大きな評価が土台となって形成さ 帯労働組合関 対決して団結を守りぬいたことへの信頼、労組交流センターや全日本建設運輸連 な労働者国 第五 に、韓国の民主労総ソウル地域本部との国境を越えた連帯をはじめ、 ||西生コン支部、金属機械労働組合港合同との3労組共闘を結成 . 際連帯闘争をつくり出したことです。これも、 国鉄分割・民営化と 画

れたものです。

労働運動復権の条件が生み出されている

て触れておきたい。 896自治体消滅情勢、 在の情勢は、 労働運動復権の条件を間違いなく生み出します。もう一度、 福島が置かれた現実、 集団的自衛権と戦争の問題につい

必ず噴き出します。そのときに鉄道や自治体、教育、 です。ようするにそれ以外は切り捨てる。生きていけない現実の中で怒りの声は 少の防波堤になる中核都市をつくりそこでもちこたえる」というのが政府の方針 支配階級もそう思っている。地域が丸ごと崩壊していこうとしている。「人口減 要な問題だと思います。もはや民営化しようが賃下げしようが解決はつかない。 できるはずです。 896自治体の破綻・消滅問題は、労働運動の再生を考えたとき、決定的に重 地域の怒りの声を組織する。それは職場に階級的な団結、 医療の労働者が中心に座っ 労働組合があれば

てたちまち市町村や観光協会なども巻き込んだ廃止反対の闘いになってJRを追 地域に呼びかけたらJRや民営化に対する激しい怒りの声が渦巻いていた。 私たちにとって、2007年の館山運転区廃止反対闘争の経験は貴重でした。

そうした反乱をつくり出す以外に解決の道などない。また逆にそうした闘いの中 まで病院を残してきた。労働組合にはそういう力があることを実感しています。 銚子市立病院の廃止をめぐる問題もそうです。実際に市長もリコールして今日

各地で始まったら大変な反乱になります。 で労働組合もこれまでとはまったく違うかたちで再生する力を取り戻していく。

動労水戸のストライキ

を強制し、JRはそれに呼応して常磐線を竜田まで延長し、さらに原発直下までろか事態はより深刻化している。政府は、原発事故などなかったかのように帰還 実が不気味に進んでいる。 バスを運行しようとしている。子どもに甲状腺ガンが広がっている。こういう現 原発事故以 .の現 実との闘いもまったく同じです。何ひとつ解決つかないどこ

ごく普遍的な意味をもつ闘いです。 闘い続ける歴史的な挑戦です。誰も実現することができなかった。しかもものす なっている。それは、 態の深刻さと分断攻撃で簡単に声をあげることもできない現実があります。 水戸のストライキと共同診療所が、そうした怒りの声を一つに団結させるの力に これに対して動労水戸が職場からストライキで立ち上がっている。福島では事 原発や被曝労働に対し、職場からストライキで非和解的に 動労

鉄分割 ばなりません。 働者が職場で団結し、闘いを開始する。そうやって労働組合を甦らせていく。国 なったとき、 労働運動がそれにふさわしい飛躍を成し遂げることができれば、それらが一つに 改憲や戦争に対する危機感も、間違いなく労働者の根底的な怒りを呼び覚ます。 ・民営化反対闘争を守りぬいてきたその力を今こそ大きく発展させなけれ 間違いなく爆発的な力を獲得できる。JRや自治体、 教育や医療労



動労水戸のストライキ

営化 なくなって歴代社長2人が自殺した。もはや鉄道会社の体をなしていない。 端的に示しているのがJR北海道です。線路を直すことも電車も直すこともでき の矛盾が激烈に吹き出している。「JR崩壊」というべき現実です。 R の職場の現実も社会全体の縮図そのものです。JRではいま国鉄分割・民 それを

出した現実です。 交通省による監査の時より多い。人材も資金も資材もない。これが民営化が生み レールが点検されずに放置されていたことが明らかになりました。 これだけ社会問題になっても去年10月の会計検査院の監査では320カ所 1年前 の国土 0)

題が相互に増幅し合って加速して進む。 いくような大規模な廃線が起きるのではないか。こうやって896自治体消滅問 ればならなくなる。おそらく激甚なことが起きます。 そこに新幹線が開通する。 JR北海道は30年がかりでその建設費も支払わなけ 地域を丸ごと見殺しにして

R北海道だけの問題ではない

線川崎駅で脱線転覆事故が起きました。外注化の必然的な結果です。工事管理者 Ř 崩 壊 は北海道だけの 問題ではない。 JR東日本では去年、

> 【JR北海道問題】201 2011年5月の石勝線特 2011年5月の石勝線特 39人。11年度実施の車両検 査で延べ約3100回中 査で延べ約3100回中 香で延べ約3100回中 香で延べ約3100回 大変施であることを会計検査 院に指摘された。2013 年7月に特急列車出火事故、 8、9月には連続で保線ミス による貨物列車脱線など事 故が続いている。

保安担当、線路閉鎖責任者、重機安全指揮者、工事車両運転手、 は何ひとつ解決されないまま同じことが続いています。 べて違う会社に外注化されていた。事故が起きないほうがおかしい。 列車見張員がす いまも問題

延々と賃下げを続けているだけ。 んではみたもののすでに匙を投げてしまっている状態です。なんの展望もなく JR貨物の経営破綻もさらに深刻化している。日本郵船出身の再建屋を送りこ

が瀬戸際政策です。600駅中500駅を無人化する。これが上場の実態です。 まさに、 再来年には民営化から30年を迎え、JR九州の株式を上場すると言っています 社会全体で起きているのと同じことがJRで起きている。

大量退職と外注化の強行

す。しかし、JRはそれを逆手にとって、国鉄的なものを一掃する新たな労働運 年のあいだに半分近い労働者が6歳定年退職を迎える「大量退職問題」に直 動解体攻撃と際限のない外注化攻撃に突進しようとしているのです。 ています。民営化のために8年間新採を停止したことの歪みが爆発しているので いまJRで始まっているのは第二の分割・民営化攻撃です。JRは今後8~9 置

となれという態度です。こんなことをしていたら安全がすべて崩壊する まともに検討すらされないまま次々に外注化が強行されていく無責任が横行して いることです。幹部たちはその部署の自分の任期さえ乗り切れば後は野となれ山 恐ろしいのは、大量退職に追い立てられて、それがどんな結果をもたらすのか、 これも社会全体で起きていることと同じです。資本の目先の利益がすべて。後

> 東掌の2人が軽傷を負った。 事故】2014年2月23日、 非通上の工事用車両を衝突 線の蒲田駅行き回送電車が、 線の浦田駅行き回送電車が脱 、1両目が横転して運転 を大破した。この事故に なり、回送電車の運転士と より、回送電車の運転士と



パンクした。 膨大な労働者を無権利と低賃金の檻の中に閉じこめただけで公共サービスは全部 すれば安価で良質な公共サービスを提供できる」がうたい文句でした。 のことなど関係な そして生み出されたのは貧困と社会の崩壊です。 だけど、 「民営化

ローカル線切り捨てに走るJR

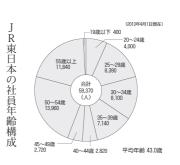
きるようになった画期的な年だった」と言って、「国鉄改革のときのようなイノ ーションを実行する」と宣言しています。 R 東 日本の清野会長は 「昨年は、 都市消滅や人 「口減少問題で国民的 議論がで

横浜 べて切り捨ててもいいと政府がお墨付きを与えたととらえている。だから、 域活性化」を掲げてもそこに出てくるのは、 〝画期的〟というその意味ですが、どうも地方中核都市以遠のローカル線はす ・新潟・秋田駅などの再開発だけです。首都圏に経営資源を集中する。 東京・新宿・品川・渋谷駅・千葉 地

改正を契機に全国で地方ロ でも社会全体でおきていることの縮図です。 のものです。 これは安倍政権が進める地方中核都市を防波堤に人口減少を防ぐという方針そ 実際、 房総特急の全面的な廃止・削減もそうですが、3月のダイヤ ーカル 線 0) 切り捨てが全面的に始まっている。この点

売二、第三の尼崎事故の危機

する新たな攻撃が始まっています。 さらに職場では、 結 局 玉 鉄分割 JR東日本では、 民営化ではつぶせなかった労働 分割・民営化の手先になっ 組合を解体



滅してしまった。こうした点でも、JRの職場では、安倍政権が進める労働運動 た東労組さえもはや許さないという攻撃です。JR連合の組織も東日本からは消 の開催・再編攻撃が典型的なかたちで進行している。

三の尼崎事故がいつ起きてもおかしくない状態です。職場は怒りの声にあふれて (去るも地獄) でも、すべての矛盾が爆発寸前の状態です。国鉄分割・民営化のときと同じで、 残るも地獄〉の現実が職場に強制されようとしている。第二、第

場に広がっていくことも不可能ではない情勢です。 された労働組合がJRの職場から力を取り戻し、甦って全国のあらゆる産別の職 います。 こうした現実は、われわれを原点に立ち返らせます。国鉄分割・民営化でつぶ

脛雇撤回・JR復帰の最高裁判決を

闘 中に判決を出 裁を追いつめています。 争の最高裁勝利判決をかちとるために全力で闘いを強化したい。 あらためて全国の仲間たちに訴えます。 すことができませんでした。 われわれが明るみに出した真実が最高 何よりも第一に、 10 47名解 最高 裁 は 雇 昨年 撤 口

労働運動復権 すべてを問 撤 34カ所で開催された国鉄集会の成功は、 集めてくれた全国 来していることを示しました。そのすべての力を結集して、 回闘争や外注化阻 第二に、 国 直すようなかたちで国鉄闘争が再び説得力、 鉄闘争全国 元年にしたいと思います。 の仲間たちの大変な努力に心から感謝します。 |止闘争がすべてなだれ込んで、30年余りの新自由主義攻撃 運動の本格的な発展をかちとりたい。 、2015年の大激動情勢 獲得力を持つ情勢が到 2015年を階級 9万筆近 また昨 の渦中に、 い署名を 全国

列車 主義政策への怒りの反乱です。私たちは労働運動の再生をかけて闘いに立ち上が 大きな成果です。 が廃 反乱が始まっています。 止 3・14ダイ改阻止闘争にストライキで立ち上がります。千葉では特急 削減され それは単なる列車削減への抗議 る沿線自治体の大半がJRに撤 それはこの間、 私たちが地道に地域を組織してきた ではなく、 回を求めて立ち上がる地方 死活をかけ

ります。

じるしを掲げたい。 る可能性があります。何としても新自由主義攻撃を打ち砕く日韓鉄道労働者の旗 鉄闘争の新し 由主義崩壊情勢の中で、とどめを刺すような闘いを東アジアから世界に提起でき ソウル地本との交流が始まりました。日韓の鉄道労働者が手を結んだとき、 第四に、 民営化に反対する鉄道労働者の国際連帯闘争の発展をめざします。 い可能性として、民営化との闘いの渦中にある韓国 1の全国

ち上がりたい。改憲と戦争への怒りの声を結集し、時代を変える。その手がかり をつかむ過程にする。今こそ国鉄闘争の本格的な発展をかちとろう。 後70年」に至る過程を、国鉄闘争を軸に階級的労働運動を甦らせる闘いとして立 $\ddot{\Xi}$ |に、3・11大震災・原発事故4周年の闘いから5~6月の安保国会、8月 戦

動労総連合を全国に

成したのはそのためでした。3月15日には動労水戸支援共闘会議も結成されます。 外注化粉砕闘 R千葉鉄道サービス)を貫く組織拡大を絶対に実現する決意です。(終) 働者の怒りの声を結集しよう。私たちは外注化を粉砕するためにJR―CTS(T 再び国鉄労働運動が時代の先頭に立つちときがきました。動労水戸に続き青年労 運動再生をかちとる。国鉄分割・民営化攻撃のさなかで私たちが動労総連合を結 建設したい。JRの職場では分割・民営化体制の大再編攻撃が始まっています。 結論として国鉄闘争全国運動の本格的発展を通して今こそ動労総連合を全国に !争を軸にこの攻撃と闘いぬいて組織拡大を実現し、 、国鉄 —JR労働



【発行】国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を 支援する全国運動(国鉄闘争全国運動)

〒260-0017 千葉市中央区要町2-8 DC会館内 TEL043(222)7207 FAX043(224)7197